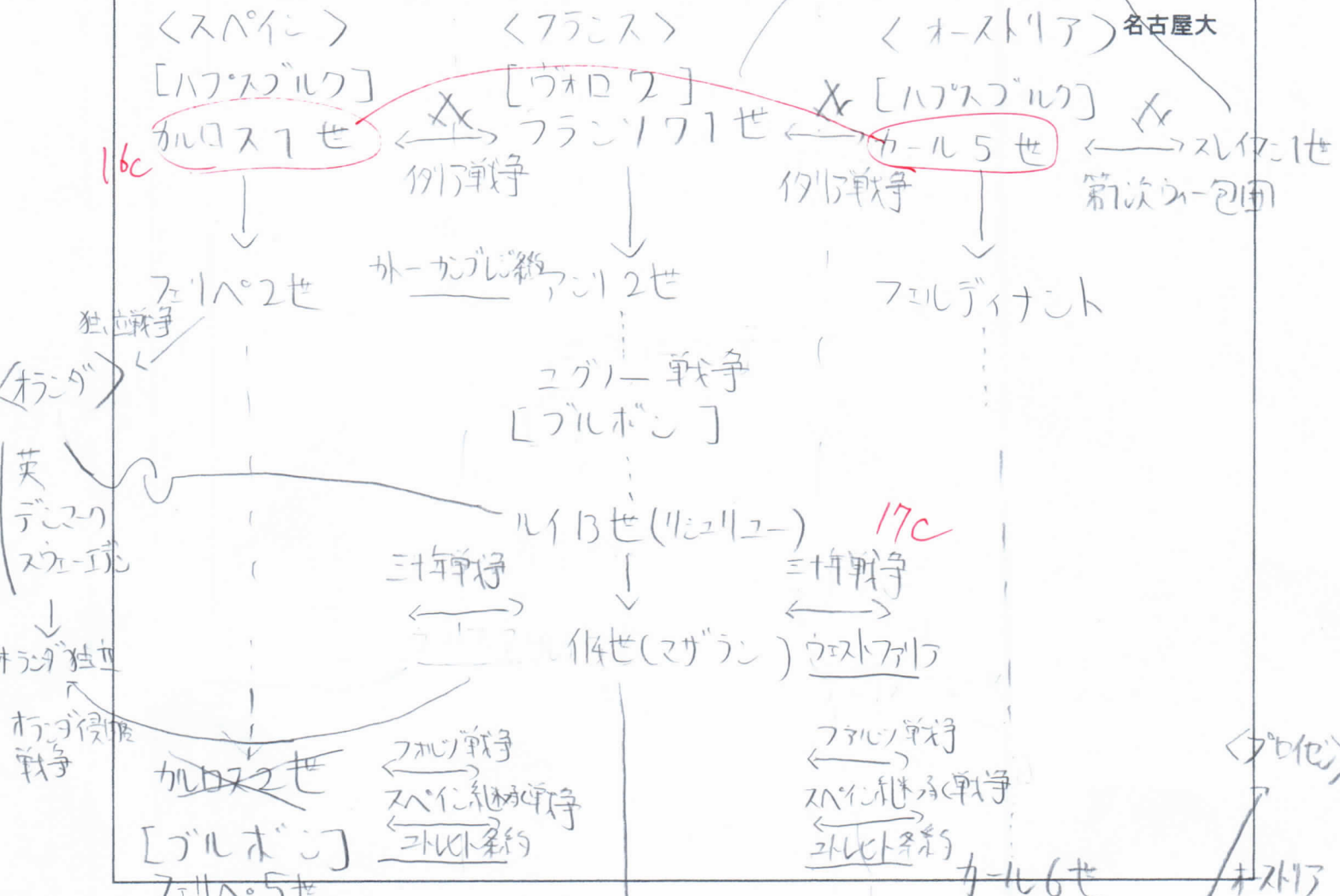


16世紀初頭から18世紀半ばまでのスペイン・フランス・オーストリアの三国をめぐる動向について、300字以内で論述せよ。

ハプスブルク家・ブルボン家・カルロス1世・ルイ14世・三十年戦争・ユトレヒト条約・外交革命

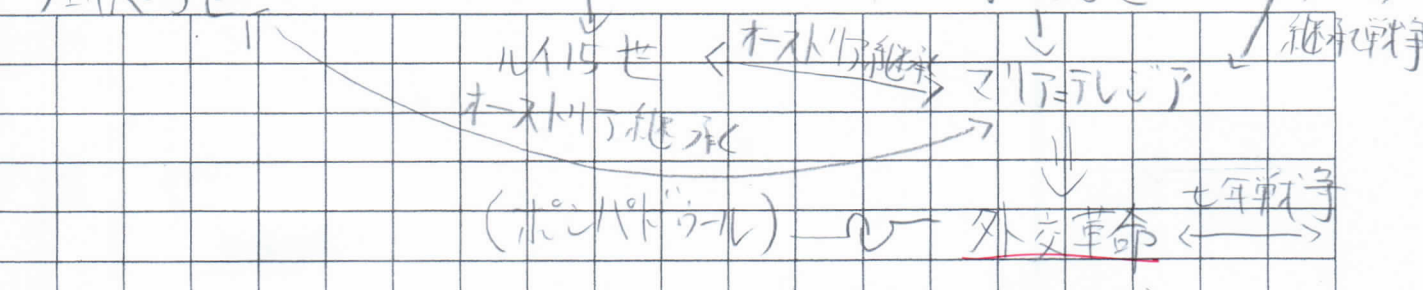
1618

名古屋大



英
 ティコフ
 スウェーデン
 ↓
 フランス独立
 フランス継承戦争

フォン戦争
 フランス戦争
 スペイン継承戦争
 ユトレヒト条約



- 16c ハプスブルク家強化
- 17c ブルボンの台頭
- 18c ユトレヒト条約でフランスとスペインの合併阻止
- 18c 外交革命(オーストリアとフランス) → 七年戦争
- 両家の対立は終わる

∴ おくられていき

16世紀初頭から18世紀半ばまでのスペイン・フランス・オーストリアの三国をめぐる動向について、300字以内で論述せよ。
ハプスブルク家・ブルボン家・カルロス1世・ルイ14世・三十年戦争・ユトレヒト条約 ・外交革命 名古屋大

16世紀始め、ハプスブルク家のスペインはカルロス1世が神聖ローマ皇帝を兼任して強大化した。オランダの独立・アルマダ戦争の敗北により同世紀末以降衰退した。フランスのブルボン家が17世紀前半台頭して三十年戦争に介入し、同世紀後半ルイ14世は国際政治の主導権を掌握した。18世紀はじめのスペイン継承戦争後のユトレヒト条約でブルボン家がスペイン王位を継承したが両国の合併は阻止された。一方、同世紀半ば、オーストリア継承戦争に敗れたオーストリアのハプスブルク家はプロイセンへの対抗上、外交革命によりフランスと提携して七年戦争に挑んだ。ここに国際政治上の両家の対立は終焉した。

16世紀初めハプスブルク家のスペインはカルロス1世が神聖ローマ皇帝を兼任して強大化した。オランダの独立、アルマダ戦争の敗北により同世紀末以降衰退した。代わってフランスのブルボン家が、17世紀前半台頭して三十年戦争に介入し、ハプスブルク家に対抗、同世紀後半ルイ14世は国際政治の主導権を握った。18世紀初めのスペイン継承戦争後のユトレヒト条約で、ブルボン家がスペイン王位を継承したが、両国の合併は阻止された。一方同世紀半ば、オーストリア継承戦争に敗れたオーストリアのハプスブルク家は、プロイセンへの対抗上、外交革命によりフランスと提携して七年戦争に臨んだ。ここに国際政治上の両家の対立は終わった。

産業革命では、紡績や織布における技術革新、蒸気機関の改良や鉄鋼業における新たな発明など、産業技術上の革命が進展したが、同時に社会構造上の大きな変動も起った。この社会構造上の変動について、人口移動や社会階層に焦点を当てて述べよ。(120字程度) 大阪大

産業革命と第2次囲い込みによって、農村から都市へ人口移動をおこり、鉄道の普及が移動をより活発にした。都市の流入した人口の多くは賃金労働者となり、彼らを雇って工場経営をおこなう産業資本家が台頭し、貴族・地主勢力と対抗するようになった。

※問題の指示が人口移動を社会階層であるから、「農村から都市への移動」と「労働社会層の成立と産業資本家の台頭」について述べる

イギリスでは15世紀末から19世紀の始めにかけて、二度にわたる囲い込み運動(エンクロージャー)が行われた。この運動はイギリス資本主義の生成と発展にとっていかなる意味を持つか。囲い込み運動が行われた経済的背景とその主な目的、およびこれが農民層に与えた影響を考慮に入れて、200字以内で説明せよ。

北海道大

第一次囲い込み運動は毛織物工業の発達を背景に牧羊のために実施結果、マニュファクチュアによる資本主義的生産が活発になり、資本蓄積が進行し、土地を喪失した農民が流浪化した。

第二次囲い込み運動は産業革命の進行を背景として工業人口用の穀物生産のために実施結果、農民は都市の工場労働者となり資本主義の確立がもたらされる一方で、ヨーマンの消滅により農業の資本主義化も完成